

まちの保育園 吉祥寺の子育て情報誌

まちのこどもと

第四号…二〇二四年一月



2歳児…絵本から広がる見立てやごっこ遊び

子どもたちが大好きな絵本。遊びの中で、子どもたちが自由に好きな絵本を見たり、保育者に読んでもらったりする他に、毎朝、みんなで集まって絵本や紙芝居などの読み聞かせをしています。子どもたちが好きな動物や乗り物、おばけや忍者、食べ物や季節を感じられるものなど、保育者が読み始めると「いま、トイレいくから待ってて」と、楽しみに集まって来ます。例えば、忍者の絵本から「廊下と階段を歩く時は？」「にんにん！」「ぬきあし、さしあし、しのびあし！」と大好きな忍者になりきって静かに歩く姿も見られます。

ある時、積み木で遊んでいたRくんとAくん。最初は積み木で動物の家を作っていたのですが、色々作っていくうちに積み木で山を作り、橋を渡し、ヤギと猿の動物の積み木を「三びきのやぎのがらがらどん」に出でくる「三びきのやぎとトロール」に見立てて「ちーさいヤギのーがらがらどん♪ かた、こと、かた、こと、かたことん♪」と歌いながら、ヤギを動かしていきます。絵本で見えていた話を積み木や動物でイメージしながら再現していました。



動物の図鑑を再現しています



サーキット遊びで平均台を渡る時や、外遊びでも「せんせい、トロールやっぺ〜！」と、橋を渡る「がらがらどん」をイメージして楽しんでいきます。

また、すくすく泉公園で遊んでいたある時。長い茎を見つけて引っ張る保育者に一人、また一人…とつながり「うんとこしょ、どっこいしょ。まだまだカブはぬけません。」と「おおきなかぶ」の話を思い浮かべて楽しむ姿も見られました。

絵本で見た話や、自分が体験したことなどを遊びの中でもイメージしながら再現して楽しむことが増えてきました。少しずつ、子ども同士でやり取りしながら、友だちと一緒に遊ぶ楽しさも広がってきています。子どもたち同士のやり取りをそっと見守りながら、私たち保育者も一緒に楽しんだり、状況に応じて言葉を添えたりしながら、さらに見立てや友だちと関わる楽しさが広がるようにしていきたいと思えます。



*「まちのこどもと」は、まちの保育園 吉祥寺が地域の子育て世帯に向けて発信する小さな情報誌です

*一部の写真は過去のものを使用しています